

「七つの海」への讃歌 通りすぎた海

期間 7月16日(木)～11月17日(火)

「なみだ船」、「兄弟船」など、海を題材にした作品を数多くもつ星野先生。

今回の企画展は、代表的な7編にまつわる創作のエピソードを紹介し、星野先生が生涯、抱いていた海への愛を確かめます。

取り上げる作品は次のとおりとなっておりますので、ぜひこの機会に星野哲郎記念館にご来館ください。



撮影：荒牧万佐行

- 壱の海「浜っ子マドロス」美空ひばり 唄
- 弐の海「なみだ船」北島三郎 唄
- 参の海「アンコ椿は恋の花」都はるみ 唄
- 四の海「兄弟船」鳥羽一郎 唄
- 五の海「女の港」大月みやこ 唄
- 六の海「みだれ髪」美空ひばり 唄
- 七の海「海で一生終わりたかった」島津亜矢 唄

■問い合わせ

商工観光課

☎0820(79)1003

星野哲郎記念館

☎0820(78)0365

地域おこし協力隊
三浦宏之

「お役に立てれば、幸いです。」 29

定住促進協議会日良居分室

☎0820(73)0234

周防大島出身の著名人といえ、誰を思い浮かべますか？

民俗学者・宮本常一先生、作家・星野哲郎先生がトップでは無いでしょうか？私自身は不勉強で、周防大島に暮らすという意識を持つてはじめて二人の存在を知りましたが、周防大島について調べる際に出会った宮本常一先生の書籍がきっかけで周防大島への興味がどんどん強くなっていきました。

星野哲郎先生に関しては、その名前を知らなくても、その歌を聞けばあれもこれもみんな知ってるものばかり。曲名を見ただけでその歌が口ずさめる、日本人の心とも言える名曲の数々。周防大島に暮らす中で再会した「三百六十五歩のマーチ」が今では私のテーマソングです。

星野哲郎記念館では、7月16日から夏季企画展「七つの海」への讃歌「通りすぎた海」が催されます。

今回、御縁をいただき、「ふるさと海」というコーナーをお手伝いしました。星野先生のエッセイ「霊薬の海」をモチーフに、地域おこし



▲鳥くらす海そうじ (撮影：西山 喬)

協力隊の活動を通じて得た海への思いを3枚のパネルで展示しています。周防大島の海の魅力を感じていただければ幸いです。周防大島の写真家・西山喬さんに写真提供などご協力いただきました。期間中、是非とも足をお運びください。

毎月1回1時間の海岸清掃「鳥くらす海そうじ」次回は8月3日(月)午後6時より立岩海水浴場で行います。海の魅力をともに感じましょう。ご協力よろしくお願ひします。